

わかやま 産業通信

Wakayama Industrial News Magazine

第9号

令和2年3月31日発行



01

特集

『古くて新しい5S』

03 5S活動・県内企業取組み事例 「お互いを後押しし合う、温かな社風で」 - 竹島鉄工建設株式会社

「大切なのは『次に繋げる』気持ち」 - 協和プレス工業株式会社

05 製造現場の管理技術研修

07 コラム 「5Sの意義と普及」

08 PICK UP! おもしろ科学の実験工作教室

古くて新しい5S

企業活動において、常に重要視される生産性の向上。働き方改革関連法の施行により、更に注目されています。しかし、今以上の生産性をとなると、具体的な改善方法が分からず、なかなか踏み出せないという現状もあります。そんな時こそ基本に立ち返り、もう一度自社を見直してみませんか？

今回の特集では企業活動の基本とされている「5S」について紹介します。昔から耳にする言葉ですが、基本だからこそ時代が移り変わっても必要とされています。5Sの基本事項や、その実践方法などの紹介もしますが、既に知っているという方も多いと思いますし、参考書も多数存在します。そのため、この見開き一ページでは基本事項等だけでなく、活動を通じて実感してほしい、「社内コミュニケーション」の重要性にも焦点を当てていきます。5Sを見直すことで、改善への手がかりを見つけられるかもしれません。

とりあえずは基本から！

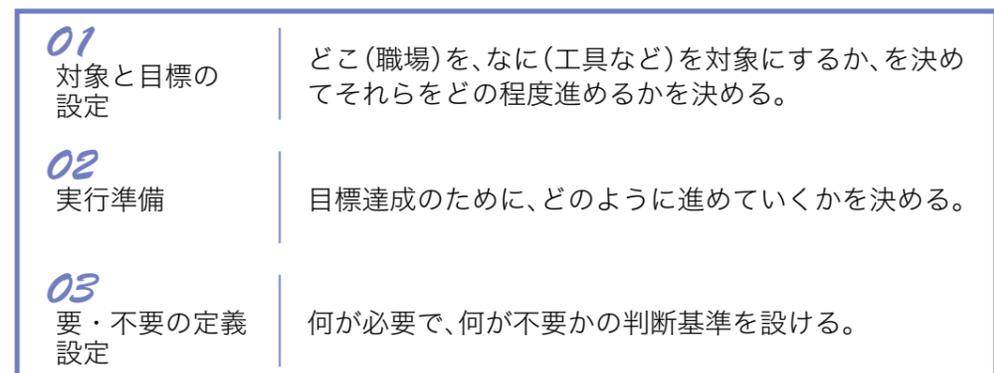
まずは5Sの簡単な紹介から。「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」という5つの基本事項があり、それらのローマ字の頭文字を取って「5S」とされています。それぞれの役割は以下のとおりです。



初めの第一歩「整理」

5S活動はこれらの役割を基に進めていきます。5Sは順番に行っていく必要があるため、まずは「整理」から進めましょう。以下に進め方を例示します。

左図の3はより明確な方が良いです。明



「清潔」

続いて「清潔」です。清潔は今までの「整理・整頓・清掃」を維持することです。それらを徹底・標準化し、汚したくない気持ちにさせることで、汚れや異常が目立つようにはしません。

必要なのは理解と協力

「躰」

そして、最後に「躰」です。これは働きやすい職場にするために行ってきた4つのSによってできたルールをしっかりと職場の皆で守っていくことです。人によって「要・不要」が整頓されている・乱雑である「整頓」されている・されていない等の価値観は異なりますが、それらは明確化したルールで統一していきましょう。全員で守っていき、働きやすい職場を目指します。

場を作ること」だからです。

業務効率の改善になるので、仕事として業務時間内に行うことが妥当ではありませんが、中には「仕事が忙しくて、正直そんな時間は取れない。」といったことを言う人も出てくるかもしれません。また、一部の人が先導するだけで周囲が理解を示さず、協力を得られないということもあるかもしれません。仕事が忙しく、正直「余計なこと」と感じてしまうこともあるかもしれません。しかし、それではいつまでたっても今以上の改善は望めません。

必要なのは改善の先にある目的や得られるメリットを全員が理解し、そして「必要なこと」とであると、認識を一つにして協力し合うことです。

そうすることで初めて5Sを推進でき、働きやすい職場を作ることができます。この「協力」が重要で、職場で協力体制が確立されれば一体感が自然と生まれ、社内でのコミュニケーションが充実し、よりよい社内環境づくりに繋がります。

塵も積もれば・・・

5Sは、よく使う備品の収納場所を見直してみるなど、身近で小さなことから始められます。小さなことを少しずつ重ねていけば、大きな改善に繋がります。しかし、逆

どんな時代でも

改善を積み重ねていく過程で自然とコミュニケーションが育まれ、結果が強くなります。良質なコミュニケーションは時代や社会環境がどれだけ変わっても、蔑るにできるものではありません。

A1やO1Tが充実し、様々な作業が自動化されてもそれらを扱うのは人であり、人と人とのコミュニケーションは常に必要です。

5Sは「働きやすい職場」を作ることができるとお伝えしましたが、物の配置云々だけでなく、より良い人間関係の形成による「働きやすい職場」も作ることができます。企業活動は人無くしてできるものではありません。企業はその理念を達成することができるのです。それならば「人財」を大切に成長させていくことはどんな時代でも企業の成長に繋がります。

5Sの推進は社内環境が改善される上より良いコミュニケーションを形成できます。それらは、企業活動において、大きな財産になります。5Sは時代が変わっても

「整頓」

次は「整頓」です。整理によって残った必要なものの置き場を明確にし、置き場所が乱れないようにします。例えば番号を割り振る、色で分ける、スポンジなどをその形にくりぬき他の物は置けないようにするなどといった方法があります。そして、これらの置き場所は全員が共有し、すぐに取り出したり戻したりできるようにしておきます。これをルール化し、職場で運用していきましょう。

「清掃」

「清掃」は工具や備品のメンテナンスでもありますが、メインは点検です。置き場所は守られているか、職場は汚れていないか、通路に物が置いていないかなどを点検し、正常な状態を維持することで、異常を明確にします。

清掃は誰が担当するか等ルールを決めておくと取り掛かりやすくなります。

会社を好転させる一つの鍵になるかもしれません。

ホームページが新しくなりました！

公益財団法人わかやま産業振興財団

財団のホームページをリニューアルしました。和歌山県内の中小企業の皆様を支援するメニューを皆様の「したい！」に合わせて分類し、より探しやすくなりました。スマートフォンでの閲覧にも対応しておりますので是非ご活用ください。



HP



URL <https://yarukiouendan.or.jp/>

CASE 1 互いを後押しし合う、温かな社風で

竹島鉄工建設株式会社

関西有数の大型高層ビルの鉄骨施工等を手がける竹島鉄工建設では、若手からベテランまで一丸となって積極的に社内改善に取り組んでいる。その推進力を支える根源について、和歌山ものづくり経営改善スクール修了生である生産管理課長の川口裕太さん、品質管理課リーダーの石田智久さん、生産管理部主査の藤井勇次さん、製造部リーダーの雑賀政行さん、生産管理部リーダーの梅本優也さんの5名にお話を伺った。

社長や会社が後押ししてくれる

「うちでは基本的に、社長が『どんどんやれ！』って言うってくれるんです。何か新しく始めたい時は必ず後押ししてくれて…。社長のそういうスタンスが社内にも根付いているので、皆で一丸となって取り組めるんです。」そう答えてくれたのは生産管理課 課長の川口さん。川口さんは「ものづくり経営改善スクール」で学んだスキルを活かして、チームで改善活動を進めているそうだ。

過去に作業工程のムダを失くす改善を行った際も、社員の協力がありがたかったと品質管理課リーダーの石田さんは語る。「その時は、業務の標準化のために社員の作業の様子をビデオ撮影したんですが、みんな嫌がったりせず、恥ずかしがりながら

も喜んでいるというか：（笑）こちらも良くしたいという前向きな気持ちで取り組んでいるので、そういう協力があるがたいし、『もっと頑張ろう！』という気になりますよね」

若手による5S委員会が発足

昨年、竹島鉄工建設では5S委員会を発足したそうで、その詳細について生産管理部の藤井さんに話を伺った。

「5S委員会では、月1回の意見交換会や部署ごとの改善件数の報告なども実施しています。基本的な道具の整理整頓や、毎週水曜日に一斉清掃を行ったりと色々な取り組みを進めています。嬉しいことに、この委員会は若手の子たちから『5S活動をやらせてほしい！』という意見が出て始まったんです。そして社長から『それならやれる場を与えよう』と言われてもらい、委員会という形で発足しました。僕たち先輩としては見守りつつも、若い子に言われたらやらないと…と後押しされる気持ちにもなっています」

ひとつの目標に向かって全員で突き進む

製造部リーダーの雑賀さんは、さらに社内で横断的に改善活動に取り組みたいと言います。「僕はこの5名の中では1人だけ製造部なんですけど、改善は1つの部署だけで

できるものじゃないな、と感じています。生産管理や品質管理の目線から目標値を立てたとして、実際の現場である製造部でどこまで可能なのか、あるいはその方法はあっているのか？…など、部署間で話し合っていないと実現は難しいですね。だから、これからもっと会社全体を巻き込んで、どんどん取り組んでいきたいです」

一般的に、改善活動は人間関係の齟齬で止まる例が多く報告されている。だからこそ、結びに一番印象的だった生産管理部の梅本さんの言葉を紹介したい。

「改善ってなにも生産性のことだけじゃないと思います。そういう活動を通じて協力しあうことで結束が強まり、ひとつの目標にむかって全員で突き進んでいける。人



CASE 2 大切なのは『次に繋げる』気持ち

協和プレス工業株式会社

「人を育て 技術を磨き 日本の未来をつくる」をモットーに、業務用空調機や情報通信機器等の板金プレス部品を製造する協和プレス工業。同社の強みであるスムーズな社内一貫生産を支えるのは「ちよつとした心遣い」だと、ものづくり経営改善スクール修了生 管理部部長の野村侑加さんは話す。

5Sでコミュニケーションも改善

「どの組織にも当てはまるとは思うんですが、良い仕事をするには良いコミュニケーションが欠かせないですね。例えば、次の工程へ部品を持っていくときに、『ここに置いておくね』って一声掛けるだけでも全然違います。5Sでは、整理整頓が基本。置き場所を決めて、表示を付けておくだけで、次の人はすぐにそれを取っていくことができる。自分の担当が終わったら完了！じゃなくて、次の人にちゃんと繋いであげていく。自分の仕事だと思えます」

同社では月に一度勉強会を行っており、そこではとあるビジネス誌の特集記事についての感想を4人一グループに分かれて発表し合う。そして、グループメンバー間で、いわゆる「美点凝視」の視点を持って各発表の良いと思った点を伝え合うのだという。野村さん曰く、この勉強会を始めから、積極的に自分の意見を発信してく



れる人が増えたそうだ。「5Sを推進していくには、自分だけじゃなく周りの人も使いたいように、次の人に繋げるには？と考えることが大切だと思います。それが社内浸透することで、さらに職場環境が改善され、『コミュニケーションも円滑になる』と思っています。同じ記事を読んでも個々に感想が違うので、それを認め合える環境づくり、人間力づくりを大切にしていきたいですね。」

5Sのポイントは継続

同社では過去に、5S活動の一環として工場内に長年保管してあった在庫を一扫し、整理整頓を行ったそうだが、数年で以前の状態に戻ってしまった苦い経験があ

るのでそうだ。

「今思い返すと、原因は維持管理できる仕組みができていなかったこと、そしてコミュニケーション不足にもあったと思います。その時は管理部主導で実施したんですが、実際にそこで働く現場の人に『なぜ整理整頓するのか』という目的が伝わっていませんでした。結局、また無造作に在庫が積み重なる状態に戻ってしまったんです」

この体験談からは、明確な管理ルールや目的などの共有がいかに大切かを読み取ることができる。「この経験を活かして、また次の改善策を現場の人たちと一緒に意見を出し合って取り組んでいきたい」と野村さんは言う。5Sのポイントは「継続」。大切なのは、失敗してもあきらめずに次の一手を探すことである。

次に繋げる「気持ち」を大切に

「働き方改革が推進されている今、製造業では効率化を進めることは必須です。IT化も進んでいて、人間がやっていた仕事をロボットやAIがするようになっています。ですから、置き換えられるところ、そうじゃないところもあって、5Sを徹底することでムダを省き、もっともって効率化できることもある。私たちはそういった基本

間関係が良くなって、楽しくて、給料ももらえるなんて、最高じゃないですか！」



竹島鉄工建設株式会社
〒643-0813
有田郡有田川町西丹生園285-1
TEL/0737-52-5454 HP/http://www.takeshima-tekko.com/



を軸に、職場環境を整える改善に取り組んでいます。そして、自分の職場、部署本位になるのではなく、会社全体のためにはどう改善していくべきか、「次に繋げる」気持ちを大切にしています。またこれからも、和歌山のために、日本のために、世界に貢献する改善は何か、社会全体を捉えて考え行動していきたいです」

協和プレス工業株式会社
〒649-6503 紀の川市長田中345-7
TEL/0736-73-3211
HP/http://www.kyowa-p.co.jp/



製造現場の管理技術研修



公益財団法人わかやま産業振興財団では、生産現場の管理技術に特化した研修を行っています。
 この研修では、県内企業の皆様に、さらなる生産性向上を目指していただくことを目的とし、本号のテーマである「5S」、そして「品質管理」、「コストダウン」、「納期管理」、「人材育成」の計5テーマについて、1テーマにつき3日間をかけ、じっくり必要な手法、考え方などを学んでいただきます。
 今回はこの研修事業を、ご紹介いたします！

研修の内容

ただ講師の説明を聞いてメモをとるだけではありません。講師の説明内容を実践するワークシートや、手法の大切さ、必要性を身をもって体験するゲームに加え、他の参加者と意見を交わしあうグループディスカッション、そして発表と、盛りだくさんの内容になっています！

【主なワーク内容】

- ◆講義
- ◆演習
 - ・ワークシート
 - ・ケーススタディ
 - ・体験ゲーム(5S,手順書)
- ◆グループワーク
 - ・ロールプレイング
 - ・グループディスカッション
 - ・グループ発表 etc..

※ワーク内容は研修によって異なります。



単純な事でも見えていなかった部分があり勉強になりました。

講師の説明を聞く参加者の皆さんは、質問も飛び出し、積極的に質問を共有し、力をあわせて現場改善を目指しました！



受講者の声

生産計画を行う上でも、身の回りの5Sを整える事が大事であると学びました。

グループディスカッションで様々な意見を聞く(言う)ことは刺激になりました。



県内の様々な業種の方々が参加するネットワークも広がっています。名刺交換も遠慮なくどうぞ！

令和2年度の開催予定※

テーマ	タイトル	日付	定員
5S	安全確保から一歩ずつ！5Sで学ぶ現場改善の基礎と実践(仮)	5/11、5/18、5/25	30名(先着順)
コストダウン	準備中	6/1、6/15、6/29	
納期管理	準備中	7/13、7/20、7/27	
品質管理	準備中	9月開催(予定)	
人材育成	成功&失敗事例から学んで実践！現場モチベーションアップのためのリーダー基礎知識(仮)	10/2、10/16、10/30	

※内容は変更になる可能性があります。

令和元年度の内容は？

5S

こんな人を受けてほしい！ 製造ラインのリーダーの方、設備管理部門の方、新入社員の方

整理整頓だけじゃない！

今年度の研修では、まず基本として、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」とは何なのか、5Sを行う目的とは何なのかについて学びました。どの企業にとっても悩みの種である5S活動の定着の難しさについては、講師から、5S活動の立ち上げには社長の宣言が重要であることや、活動を進めるにあたって同僚とのコミュニケーションをどうとればよいかについて、アドバイスがありました。研修最終日には、自社の風土にあった取り組み方が重要であるとし、心構えと実際の事例を紹介しつつ解説がありました。最後は参加者の皆さんが一人ずつ、これから自社で取り組みたい内容について発表を行いました。

品質管理

こんな人を受けてほしい！ 品質管理部門の方、製造現場の管理者の方、生産技術部門の方

クレーム・不良ゼロを目指して

品質改善の目的は、顧客への不適合流出ゼロ、工程内不良削減による排気損失金額の低減にあります。そのためには、発生源対策・流出対策をよりよいものに改善していく必要があるわけですが、今回の研修では、まず「今、何が問題なのか？」という問題意識の持ち方、問題点の洗い出し方などを学び、集めたデータを分析しての現状把握を行い、目標設定し、実践していく流れを学びました。分析のために必要なQC7つ道具の使い方も、演習をまじえながら学習。ヒューマンエラーとの向き合い方、QC/PDCAの事例を見ながら、データを現場で共有することによって改善活動を「見える化」する仕組みについて学びました。

コストダウン

こんな人を受けてほしい！ 在庫管理部門の方、資材購入・調達部門の方

数字を読み取り、費用削減へ

今回の原価管理研修は、グループワークと演習がメインの実践式。「固定費」とはなにか、「変動費」とはなにかを学んだ後、「損益分岐点売上高図」の見方や、実際の運用方法を確認し、例題で実際に損益分岐点売上高図の作成を行いました。また、限界利益(売上高ー変動費)、限界利益率の考え方や、利益のために固定費、変動費を減らすにはどうすればよいかを学びました。グループワークでは、さいころ製作のゲームやコインゲームを行い、目で見える作業標準書の重要性を、体験として再認識しました。また、本研修は掲示物や講師おすずめの参考本も多数登場し、参加者の皆さんは休憩時間に写真を撮ったり、メモをとったりしていました。

納期管理

こんな人を受けてほしい！ 製造現場の管理者の方、生産管理・外注担当者の方、工場長クラスの方

計画を作り、運用せよ！

「必要な時に、必要なものを、必要なだけ作れるようにする」生産計画をたてるにはどうしたらよいのでしょうか？今回の研修では、まずコストダウンの考え方として、あらゆる「ムダ」をなくして原価を下げ、利益を出していくことを確認し、受注から納品、その後の対応を行う中で、気を付けなくてはならない点を洗い出しました。そして大・中・小日程計画のそれぞれの特徴を学び、PDCAサイクルを回して各工程の「標準時間」を割り出すことの重要性、ガントチャート等を利用した工程の見える化と進捗確認、遅れに対する対応を学びました。近年重要視されている多能工化についても言及し、効率化と教育のため作業標準書の作り方を学習。最後は基本的に立ち回り、5Sの重要性の再確認を行いました。

人材育成

こんな人を受けてほしい！ 管理職候補者の方、リーダークラスの方

企業にとっての最大の資産は「人」

管理職として知っておきたい知識として、人事考課の仕組みや、法定労働時間、有給休暇取得日数の説明の後、年代別のキャリアパスの紹介があり、予実管理のための知識として、損益計算書、貸借対照表の読み方にも触れました。また、実際に部下と向き合い職場改善を行っている企業の社長がゲストとして登壇し、現場で行っている会議のやり方や、部下の褒め方・叱り方についてお話をいただきました。グループワークでは、上司として、トラブルを抱える部下に対して何をアドバイスするべきなのか、例題を基に考え、最終日には、参加者の皆さんが各々作成した、部下指導のための「職場改善計画」の発表が行われました。

研修概要

- 開催時期：5～10月ごろ 1テーマ全3回
- 開催テーマ：①5S ②品質管理 ③コストダウン ④納期管理 ⑤人材育成 の全5テーマ
- 受講料：1テーマあたり1名6,000円(賛助会員※は3,000円) ※賛助会員制度については本誌P.11をご覧ください。
- 募集開始時期：開催日の約1か月前ごろを予定

安全に！

おもしろ科学の実験工作教室

#はじめに

わかやま産業通信をお読みの皆さん、当財団では、県内企業様向けの事業だけでなく、子供向けの事業も行っていることをご存じでしたか？その名も「おもしろ科学の実験工作教室」！毎年夏休み期間に、県内の小・中学生向けに工作教室を開催しています。講師は、多くの技術者を輩出する和歌山工業高等専門学校（和歌山会場のみ）の先生と、そこで先端技術を学ぶ学生さん。子供たちにもものづくりの楽しさに触れ、科学に対する興味を深めていただくこの教室は、令和元年で27回目の開催を迎えました。

#今年度のようす

今年度の教室は、田辺市と和歌山市とで開催。それぞれ23名、39名が参加し、壁に沿って動くと虫口ポ、ソーラーカー、ライトレースカー（和歌山会場のみ）の3つを、和高専の先生の説明と、仕組みの解説を聞きながら制作しました。そして、各々が組み立てたロボによるレースも開催！どうすれば早く角を曲がるか、何をすれば早く走るのか、試走しては調整、を繰り返す参加者の皆さん。でも、試走をしすぎると本番までに電池が減っちゃう…。皆さんの工夫と戦術、そして運も絡んだ白熱したレースとなりました。

カーレースが面白かった！

ロボットの操縦が面白かった！

次はもっとでっかいロボットを作りたい！

#まとめ スタッフからひとこと

毎年多くの参加者から「次回も参加したい！」と好評をいただいています。本誌をお読みの皆様、身近にいらっしゃるお子様に、ぜひこの工作教室をご紹介します！

編集後記
わかやま産業通信を最後まで読んでいただきありがとうございます。今回は5Sをテーマに取り上げました。執筆を始める前は整理整頓のことかなと漠然と思っただけでしたが、勉強してみると奥が深い・・・昔から必要だと言われているのも頷けます。ただ維持するのがやっぱり難しい。これを読まれている方の中には分かる人もいらっしゃるかもしれません。同じ状態を維持するって大変で、気づけば散らかってしまう。なんてこともあります。企業だっけと一緒なことなのだと思います。だからこそ、「戻」が一番重要なのかなと思ったりします。今回のわかやま産業通信で5Sのことが少しでも皆さんに伝わっていただけたらと思います。

《産業通信製作チーム》

column #2

5Sの意義と普及

東京大学ものづくり経営研究センター長 藤本隆宏教授の下で始まった地域ものづくり経営改善スクール、和歌山では平成28年に開校、私は1期生として受講し、和歌山ものづくり支援インストラクターとして中小企業さんのものづくり現場改善のお手伝いをさせて頂いています。

今回のテーマ「5S」について、ものづくり現場改善のお手伝いをさせて頂く中で感じたことや思っていること、ものづくりの現場では「5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）を」掃除をすること、「片づけ」に綺麗にすること」と誤認識されるか、認識はあるが実行されていない場合が数多く見受けられることから、今一度、その意義、効果、進め方について一緒に考えてみたいと思います。

5Sの意義と効果

5Sの意味・意義に関しては冒頭に詳細に記載されているので割愛しますが、その企業経営上の効果は表1のように纏めることが出来ます。

つまり、5Sはものづくりの基本であり、5Sを通して現場（潜在的な課題）の見える化で「働きやすい職場作り」であることです。

表-1：5Sとその効果

項目	整理	整頓	清掃	清潔	躰
原価管理	棚卸回転率 死蔵在庫率	棚卸費用	修繕費	修繕費	滞留品率
品質管理		異種混入率 不良率		不良率 直行率	不良率
量・納期管理	仕掛削減 死蔵削減	リードタイム			リードタイム 納期管理
生産性管理		人の稼働率 工数低減 スペース生産性	故障率	機械稼働率 設備生産性	機械稼働率
安全管理	災害度数率	災害度数率 無事故日数	危険予知	不安全作業	災害度数率

進め方

では継続的に5Sを進めていく上でどのように考え実行すれば良いのでしょうか？

（和歌山ものづくり経営改善スクール資料に加筆）
これらことを経営トップ／管理者をはじめ全従業員が十分に理解、認識する必要があります。

5Sはものづくりの基本であり、良い流れ作りにより生産性を高め、人材育成に繋がり、企業体質を強化することであるとの認識で経営トップ／管理者が取り組み、従業員にその意思を理解して貰うようにする必要があります。

そのために経営トップ／管理者は職場の環境／雰囲気作りを心配る必要があります。

その上で、①会社の状況（例えば、売上げ、不良率、改善活動状況など）を全従業員に見える化する。②従業員から改善案を出して貰い（小集団活動）PDCAサイクルを回す等の仕組みを構築する。③提案にはWelcomeの心構えで応え、必ず回答し、良い提案は表彰やインセンティブでもって酬いる。

等、従業員のモチベーションアップが図れる仕組み作りと職場環境／雰囲気作りを念頭に提案者や推進者をサポートすることが重要です。

5S活動が上手く行っている企業は紹介例にも有る通り、経営トップ／管理者が強い意志を持って取り組み、単に5S活動に留まらず人材育成活動へと発展させておられます。

その意味で、自社での取り組みだけに留まらず、他社の例（現場）を知る機会を設けるのも良案と思います。

県、財団での取り組みと利用

和歌山ものづくり経営改善スクールが財団内に開校されており、そこでは

- ① 自社内で「ものづくり改善」を指導するリーダー（インストラクター）の育成
- ② 現場改善をサポートするインストラクターの派遣
- ③ 受講後のスキルアップ研修、他企業との交流により知恵の交換、モチベーションアップを図る。スクールOB生による「和楽会」活動等が行なわれています。

強いものづくり現場をとお考えの方やお悩みの方はまずは和歌山ものづくり経営改善スクールにご相談下さい。

ものづくり経営改善
スクールインストラクター

やま さき はる まさ
山崎 晴正

民間企業を退職後、財団の技術連携コーディネーターとして中小企業の支援を行なう。現在、和歌山ものづくり経営改善インストラクターとして数多くの県内中小企業の現場改善に取り組む。

支援案内

- 補 補助金・助成金等による支援
- 相 相談窓口・専門員訪問等による支援
- 情 セミナー・情報提供による支援

あなたの挑戦したいことから、わかやま産業振興財団の支援メニューを逆引きで見つけられます。詳細については、各担当者までお問い合わせください。

- ・産業振興サポートメールは最新支援情報を無料でお知らせ!
- ・財団、関係機関の実施する各種施策もご紹介
- ・登録は右のQRコードか下記URLまで
<https://yarukiouendan.or.jp/support/>



1 創業したい!

創業支援セミナー

相 情

創業を志す方を対象に、知識を習得する講座や経験者による講演、ビジネスプランコンテストを関係団体と共に行います。セミナー後は個別相談や交流会等も実施します。

担当 インキュベーションマネージャー ☎(073)432-3412

地域課題解決型起業支援事業

補 相

創業に要する経費の一部を補助します。採択者の方には、事業計画や資金・労務・販路開拓等への助言などの伴走支援を実施します。

担当 チームわくわく ☎(073)432-3220

2 経営改善したい!

よろず支援拠点

相 情

中小企業・小規模事業者の売上拡大・経営改善等の経営上の様々なお悩みに対応します。多様な専門家が無料で何度でも相談対応いたします。ITを活用した生産性向上・人手不足・事業承継といった国の政策的重点分野のご相談にも是非ご活用ください。

担当 和歌山県よろず支援拠点 ☎(073)433-3100

企業プロデュース

相

企業の経営診断・経営支援を行います。商工会議所、商工会等が作成した『企業カルテ』を基に専門家集団が解決法について提案します。

担当 産業支援班 ☎(073)432-3227

専門家派遣事業

相

経営革新に取り組まれる方、新商品開発や新分野進出を目指している方など、意欲ある中小企業者へ登録専門家を派遣します。

担当 企業支援班 ☎(073)432-3235

3 人材育成・人材導入したい!

プロフェッショナル人材戦略拠点

相 情

新事業の創出、既存事業の拡大、生産性の向上など、企業の『攻めの経営』をリードすることができる、プロフェッショナル人材採用を支援します。

担当 和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点 ☎(073)433-3110

成長企業支援事業

補

人的資源の充実により成長が期待できる中小企業者に対して、各部門の中核をなす人材を導入するための費用を補助します。

担当 和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点 ☎(073)433-3110

技術人材育成のための基礎技術講座

相 情

生産現場部門の管理者、リーダーの方を対象に、生産性向上を目指すために必要な生産管理の各種手法について学んでいただく研修を開催します。

担当 テクノ振興班 ☎(073)432-5122

和歌山ものづくり経営改善スクール

相 情

自社の改善活動の中心となって、生産性向上や品質の向上等の様々な改善活動に取り組める『現場リーダー』の育成を支援します。また、財団事業に基づきスクール修了卒業生をインストラクターとして、要請のあった県内企業へ派遣します。

担当 和歌山ものづくり経営改善スクール ☎(073)432-3412

4 技術開発したい!

戦略的基盤技術高度化支援事業

補

中小企業者等が大学・公設試等と連携して行う、ものづくり基盤技術の高度化につながる研究開発やその事業化に係る費用を補助します。

担当 テクノ振興班 ☎(073)432-5122

外国出願支援事業

補

外国での事業展開を計画する中小企業者を対象に、戦略的な産業財産権の取得に向けた外国出願に係る費用を補助します。

担当 テクノ振興班 ☎(073)432-5122

未来企業育成事業

補

県内に主たる事業所を有する中小企業者と『産』『学』『官』から構成される共同研究連携体に対し共同研究の委託を行います。

担当 テクノ振興班 ☎(073)432-5122

知的財産戦略事業

相 情

知的財産の活用や特許技術のマッチング、休眠特許の有効利用など、様々な観点から各コーディネーターが支援します。

担当 テクノ振興班 ☎(073)432-5122

5 新たな取り組みをしたい!

地域活性化雇用創造プロジェクト

補 情

安定的で良質な雇用創出を図るため、高度人材の雇用や先端技術(IoT・AI・ロボット等)導入に係る費用の補助やコーディネーター派遣、セミナーによる情報提供を通して生産性向上に向けた取組を支援します。

担当 地域活性化雇用創造プロジェクト ☎(073)433-8556

わかやま中小企業元気ファンド

補

県内の地域資源を活用した新商品開発、新サービスの開発に係る費用を補助します。

担当 産業支援班 ☎(073)432-3227

専門技術研究会

補

大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関の研究者が主宰する研究会の運営活動経費を補助します。

担当 テクノ振興班 ☎(073)432-5122

テクノ・ビジネスフェア

相 情

大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関の研究成果や技術ノウハウの発表会を開催し、情報交換の場を提供します。

担当 テクノ振興班 ☎(073)432-5122

テクノサロン

情

各業界で活躍する講師による講演及び交流会を通じて、県内の産学官のより一層の交流を図ります。

担当 テクノ振興班 ☎(073)432-5122

6 新しい取引先を開拓したい!

下請取引あっせん

相 情

取引推進専門員が中小企業を訪問し、受注機会の拡大を支援します。また、大手メーカーを招いた商談会等を開催し、新たな受注機会を提供します。

担当 企業支援班 ☎(073)432-3235

海外市場開拓支援

補

海外進出に関心がある方を対象に、市場調査の実施、貿易や投資などに係る国際間取引の相談を行います。

担当 和歌山国際経済サポートデスク ☎(073)433-2837

展示会出展支援

補

国内・海外の展示会への出展に係る費用を補助します。また、集団出展形式でいくつかの国内外展示会への出展を支援します。

担当 産業支援班 ☎(073)432-3227/企業支援班 ☎(073)432-3235

わかやま産品商談会 in 和歌山

情

優れた和歌山県産品を有する県内企業と県内外購買企業との商談の場を提供し、販路開拓を支援します。

担当 企業支援班 ☎(073)432-3235

下請かけこみ寺

相

中小企業者が抱える取引上のトラブルでお困りの方に、問題解決に向けたアドバイスを行います。

担当 和歌山県下請かけこみ寺 ☎(0120)418-618

広告

—オフィス機器がIPで繋がる時代で—

中央通信機器株式会社は、安全で快適なオフィスのIP化を実現する「IP Office」構築をお手伝いをします。



人と情報を結ぶコーディネーター
中央通信機器株式会社

〒640-8318 和歌山市南出島80番地
TEL 073-473-4551 FAX 073-473-3411

浄化槽工事 保守点検 水まわりのリフォーム・お風呂 産業排水処理 水質・土壌分析 エコ和歌山株式会社 TEL (0739) 25-0110

- 水は地球の「いのち」 -

給排水・浄化槽・産業排水処理設備の設計、施工、保守点検から水質分析まで、水と環境に関わる事業をトータルに展開しています。



県工業技術センター等と共同開発した産業排水処理システムは、排水の処理過程で発生する余剰汚泥(産業廃棄物)を8割削減します。お気軽にお問い合わせください。

エコ和歌山株式会社

〒646-0051 田辺市稲成町726-1
TEL 0739-25-0110 / FAX 0739-26-6733

金属加工でお困りの方、
お気軽にご相談を!

精密板金
製缶
機械加工
短納期対応
多品種小ロット
量産

株式会社 西川製作所

〒649-6274 和歌山市金谷467-3 西川製作所 検索

TEL 073-477-0283 FAX 073-477-4469



産業用インクジェットプリンター **KGK JET** **KGK 紀州技研**

印字

あらゆるものにマーキング
産業用インクジェットプリンターの紀州技研工業です。プリンターもインクも全て自社開発。和歌山から世界へ。

Marking solution!



紀州技研工業株式会社

本社：和歌山市布引466 TEL：073-445-6610
営業所：札幌/仙台/東京/横浜/静岡/富山/高崎/名古屋/大阪/四国/神戸/広島/福岡/鹿児島
海外子会社：KGK中国/KGK India



賛助会員一覧

- | | | |
|------------------------|----------------------|---------------------|
| 1 株式会社アイスティサイエンス | 25 株式会社サイバーリンクス | 49 西岡総合印刷株式会社 |
| 2 アイレス電子工業株式会社 | 26 株式会社サンアクティス | 50 日進化学株式会社 |
| 3 青野パイル株式会社 | 27 株式会社山東鐵工所 | 51 株式会社日本化学工業所 |
| 4 アクロナイネン株式会社 | 28 株式会社島精機製作所 | 52 阪和電子工業株式会社 |
| 5 株式会社東農園 | 29 株式会社シマファインプレス | 53 ヒカリ技研株式会社 |
| 6 株式会社石橋 | 30 新中村化学工業株式会社 | 54 有限会社ビッグウッド |
| 7 株式会社稲葉 | 31 杉本特許事務所
和歌山事務所 | 55 富士化学工業株式会社 |
| 8 一般財団法人
大阪科学技術センター | 32 セイコーメディカル株式会社 | 56 伏虎金属工業株式会社 |
| 9 株式会社尾高工作所 | 33 大伸化学工業株式会社 | 57 株式会社ふみこ農園 |
| 10 花王株式会社和歌山工場 | 34 協業組合太成 | 58 北広ケミカル株式会社 |
| 11 笠野興産株式会社 | 35 太洋工業株式会社 | 59 本州化学工業株式会社 |
| 12 有限会社紀州化成工場 | 36 竹島鉄工建設株式会社 | 60 株式会社丸惣 |
| 13 紀州技研工業株式会社 | 37 太陽シールパック株式会社 | 61 三木理研工業株式会社 |
| 14 株式会社紀州ほそ川 | 38 大洋鑄造株式会社 | 62 六川鑄造株式会社 |
| 15 紀南農業協同組合 | 39 大和化成工業株式会社 | 63 株式会社メイワ |
| 16 有限会社申本儀平 | 40 竹内化学株式会社 | 64 株式会社明和製作所 |
| 17 株式会社共栄テクシード | 41 株式会社タニノプラント産業 | 65 森下機械株式会社 |
| 18 紀和化学工業株式会社 | 42 田端酒造株式会社 | 66 森下産業株式会社 |
| 19 株式会社紀和実験動物研究所 | 43 築野食品工業株式会社 | 67 和歌山県織物工業協同組合 |
| 20 株式会社寿精密 | 44 東洋ライス株式会社 | 68 和歌山精化工業株式会社 |
| 21 小西化学工業株式会社 | 45 中田食品株式会社 | 69 和歌山染工株式会社 |
| 22 株式会社小松原 | 46 中野BC株式会社 | 70 和歌山ノーキョー食品工業株式会社 |
| 23 小松屋株式会社 | 47 株式会社名手酒造店 | 71 ワコー株式会社 |
| 24 劑盛堂薬品株式会社 | 48 南海化学株式会社 | 72 株式会社ワメンテクノ |

令和2年1月末現在 合計72社(五十音順)



公益財団法人 わかやま産業振興財団

〒640-8033 和歌山市本町二丁目一番地 フォルテワジマ6階

<担当> テクノ振興部 Tel: 073-432-5122 Fax: 073-432-3314

わかやま産業振興財団では、賛助会員を募集しています。「地域の産業技術の振興を図ること」にご賛同していただける事業者様、是非ご入会をお待ちしております。

◇賛助会員には、次の特典があります◇

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ①各種事業の案内(財団、県、その他団体等の事業) | ③テクノサロンへの参加資格 |
| ②各種技術研修等参加費の減額 | ④広報誌への広告掲載50%割引(※令和2年度から) |

広告



地方銀行の「地」は地域の「地」。
 地域のみな様に寄り添う、
 それが私たちの役目。
 些細なことでもなんなりと。
 大切なことならなおさらです。
 ぜひいっしょに
 考えさせてください。



銀行をこえる銀行へ

広告

中小企業のこれからに、 商工中金の 情報提供ソリューション。

全国各地に広がる支店網と、お取引先様とのリレーションを活かして、
 商工中金では、中小企業のみなさまに課題解決のための情報を提供しています。

ビジネスマッチング

販路拡大や新事業立ち上げ
 などにつながる、ビジネスパー
 トナーの紹介を行っています。

事業承継

後継者問題を抱える事業者様
 のために、外部機関と連携し
 ながら情報を提供しています。

M&A

企業体質の強化や事業承継
 に必要な資金調達支援の支
 援やサポートを行っています。



商工中金は、国とともに、中小企業をサポートする金融機関です。

和歌山支店 073(432)1281
 〒640-8152 和歌山市十番丁2-1



人を思う。未来を思う。

商工中金



中小企業・
小規模事業者の
みなさまに

ぴったりのサポートを!

資金調達

経営
支援

創業
支援

事業
承継支援など

まずは
お気軽に
ご相談ください

©光プロダクション

「資金調達」をはじめ、経営支援・創業支援等、全力でサポート!!

和歌山県信用保証協会

●本所
〒640-8158
和歌山市十二番丁39番地
TEL:073-423-2255

●田辺支所
〒646-0027
田辺市朝日ヶ丘21番24号
TEL:0739-22-4666



LINE 公式アカウント

和歌山県信用保証協会 検索 www.cgc-wakayama.jp

<発行>



〒640-8033 和歌山県和歌山市本町二丁目1番地 フォルテワジマ 6階
●JR和歌山駅下車 ③番乗り場 和歌山バス「本町2丁目」下車
●南海電車和歌山市駅下車 ⑧・⑩番乗り場 和歌山バス「本町2丁目」下車
TEL 073-432-3412 / FAX 073-432-3314
URL <http://www.yarukiouendan.jp> / E-mail info@yarukiouendan.jp
年2回発行 第9号 / 印刷所 白光印刷株式会社



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



この印刷物は地球環境に優しい植物油インキを使用しています。